

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【公開番号】特開 2002-102193 (P2002-102193A)  
 【公開日】平成 14 年 4 月 9 日 (2002.4.9)  
 【出願番号】特願 2000-302752 (P2000-302752)  
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 5/05

A 6 1 B 10/00

【F I】

A 6 1 B 5/05 B

A 6 1 B 10/00 3 0 5 B

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 9 月 29 日 (2004.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

生体電気インピーダンス値を測定するためのインピーダンス測定手段と、該測定された生体電気インピーダンス値を記憶するためのインピーダンス記憶手段と、該測定された生体電気インピーダンス値の推移に基づいて婦人の月周期で現われる精神面の調子を判定するための判定手段と、前記精神面の調子をグラフで表示する表示手段とを備えることを特徴とする婦人用体調管理装置。

【請求項 2】

前記精神面は、少なくとも、きもち、肌状態、またはフェロモンの一つであることを特徴とする請求項 1 に記載の婦人用体調管理装置。

【請求項 3】

前記判定手段は、前記精神面の調子と同時に該測定された生体電気インピーダンス値の推移に基づいて婦人の月周期で現われる身体面の調子を判定し、前記表示手段は前記精神面の調子と同時に前記身体面の調子をグラフで表示する請求項 1 または 2 に記載の婦人用体調管理装置。

【請求項 4】

生理開始日を指定する入力ユニットを更に備え、前記判定手段は、前記入力ユニットで指定した前記生理開始日を「生理期」の開始日とし、「好調期」、「維持期」の開始日を前記生体電気インピーダンス値と前記生理開始日に基づいて決定し、前記「生理期」、前記「好調期」、前記「維持期」の「きもち」、「からだ」、「肌状態」、「フェロモン」のレベルを各期の開始からの日数に基づいて指定する請求項 1 に記載の婦人用体調管理装置。

【請求項 5】

前記「からだ」のレベルは、倦怠感のレベルを含む請求項 4 に記載の婦人用体調管理装置。

【請求項 6】

前記表示手段は、前記「きもち」のレベル、前記「からだ」のレベル、前記「肌状態」のレベル、及び前記「フェロモン」のレベルの少なくとも一つをグラフで表示する請求項 4 または 5 に記載の婦人用体調管理装置。

**【請求項 7】**

前記グラフは、バーグラフ、円グラフ、折れ線グラフ、またはレーダーチャートの少なくとも一つを含む請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載の婦人用体調管理装置。

**【請求項 8】**

前記バーグラフ、円グラフ、折れ線グラフ、またはレーダーチャートは、平面または立体表示されたグラフであることを特徴とする請求項 7 に記載の婦人用体調管理装置。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0 0 0 7

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0 0 0 7】**

**【課題を解決するための手段】**

本発明の一つの観点によれば、生体電気インピーダンス値を測定するためのインピーダンス測定手段と、該測定された生体電気インピーダンス値を記憶するためのインピーダンス記憶手段と、該測定された生体電気インピーダンス値の推移に基づいて婦人の月周期で現われる精神面の調子を判定するための判定手段と、前記精神面の調子をグラフで表示する表示手段とを備えることを特徴とする婦人用体調管理装置が提供される。

本発明の一つの実施の形態によれば、前記精神面は、少なくとも、きもち、肌状態、またはフェロモンの一つである。

本発明の別の実施の形態によれば、前記判定手段は、前記精神面の調子と同時に該測定された生体電気インピーダンス値の推移に基づいて婦人の月周期で現われる身体面の調子を判定し、前記表示手段は前記精神面の調子と同時に前記身体面の調子をグラフで表示する。

本発明のさらに別の実施の形態によれば、生理開始日を指定する入力ユニットを更に備え、前記判定手段は、前記入力ユニットで指定した前記生理開始日を「生理期」の開始日とし、「好調期」、「維持期」の開始日を前記生体電気インピーダンス値と前記生理開始日に基づいて決定し、前記「生理期」、前記「好調期」、前記「維持期」の「きもち」、「からだ」、「肌状態」、「フェロモン」のレベルを各期の開始からの日数に基づいて指定する。

本発明のさらに別の実施の形態によれば、前記「からだ」のレベルは、疲労度のレベルを含む。

本発明のさらに別の実施の形態によれば、前記表示手段は、前記「きもち」のレベル、前記「からだ」のレベル、前記「肌状態」のレベル、及び前記「フェロモン」のレベルの少なくとも一つをグラフで表示する。

**【手続補正 3】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0 0 0 8

**【補正方法】**削除

**【補正の内容】**